

一般社団法人日本セカンドライフ協会
令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

令和4年度事業報告

令和4年度は、下記の活動目標を設けて事業運営して参りました。

1. 新型コロナ禍への対応

新型コロナ禍における緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置の発出はなかったものの、流行は収束せず、参加者の出足は鈍く、イベントの実施件数、参加者数とも昨年を上回ったものの、コロナ発生前の対令和元年度比では、イベント件数82%、参加者数59%、イベント粗利50%、サークル粗利43%となりました。

一方、対面方式のイベント・サークルの開催が難しい中、一昨年度から開催しておりますオンラインイベントの開催を進めてきました。期待したほどの参加者を集めることはできませんでしたが、エリアを越えて参加するなど、オンラインの効果が見受けられました。

活動縮小に伴う収入減を補うため各種助成金の受給申請を行い、359万円の支給を受けましたが、職員1名増、システム見直し、運営委員会開催形態の見直し、JASS ネット発送業者変更等による費用増加で、当期は25万円の赤字となりました。

2. JASS 大学の開設

JASS 設立 30 周年を記念して、「もっと知りたい」「愉快地遊ぶ」「外に出る」の精神を基本とした、従来からの事業運営の枠組みを踏襲して、「人生 100 年時代」における社会的ニーズに呼応し、シニアの生きがいづくりとともに、社会貢献活動に資することを目的に活動内容の拡大を目指すこととし、「JASS 大学」を 10 月に開設しました。

3. 活動エリアと運営仲間の輪の拡大

従来の活動エリア(東北・関東・中部・関西)に加え、北海道、中国、四国、九州エリアへの展開も模索しておりましたが、新型コロナ禍の影響により来期以降に持ち越しと致しました。

4. 会員の拡大と参加者の増加

当期は、UA ゼンセン IKIKI ライフクラブの入会をいただきました。
参加者は新型コロナ禍の影響で期待した伸びは得られませんでした。

5. 設立 30 周年記念イベントの企画

令和2年に設立 30 周年を迎えましたが、新型コロナ禍の影響で開催を先送りにしてきました記念イベントを5年度に開催することで企画いたしました。内容は「芹洋子と地元児童合唱団ジョイントコンサート」とし、開催予定は以下の通りです。

東京： 7月31日(月)江東区文化センターホール
京都： 8月19日(土)京都市呉竹文化センターホール
名古屋： 12月2日(土)中電ホール

1. 組織運営

(1) 登録企業会員の状況

令和4年度開始時点で、会員数52会員でスタートしました。

期中の増減は退会3、新規加入1で、期末は50会員となっております。

退会：江崎グリコ、昭和電工マテリアルズ、HOYA

加入：UA ゼンセン IKI KI ライフクラブ

(2) 企画者の状況

当協会のイベント、サークルは、企業会員出身の運営委員、世話役の方々を中心に行われております。本年度から世話役制度を廃止し、全員を運営委員とすることにいたしました。令和4年度末における地区別人数は次の通りです。

運営委員

東北地区運営委員	1名
関東地区運営委員	52名
中部地区運営委員	9名
関西地区運営委員	43名

合計105名

2. 事業活動

(1) イベント・サークル事業

イベント事業におけるイベント催行数は、前期27比%増の1,626件(343件増)となり、イベント参加者数は、前期比46%増の14,630名(4,611名増)となりました。

サークル事業に関しては、定型イベントへの移行もあり、前期比54%減の参加者380名(452名減)となりました。

以上の結果、イベント事業とサークル事業を合わせた延べ参加人数は、15,010名となり前期比38%増、人数にして4,159名の増加となりました。

新型コロナ禍前、令和元年度との比較は上記記載の通りです。

(2) 機関誌事業

年4回発行の機関誌「JASSネット」の発行部数は、32,400部でした。

(3) JASS 大学の開設

4年10月から開設をいたしました。今後内容の充実に向け、更に具体的な検討を進めてまいります。

3. その他活動

(1) 広告収入の増加

シニア向け商品を販売している事業者からの注文で、チラシ同封、バナー広告を受注することができ、80万円の収入を得ました。

(2) ホームページの閲覧数が増加

JASSホームページからのイベント申込みは引続き4割を超える状況となっております。また、毎週イベント・サークルの活動報告を更新しており、令和4年度は活動報告が263件（前期比126%）、月平均21件の投稿がありました。前期より50件増えました。

また、ホームページのアクセス数は年間 179,854 件（前期比109%/月平均 14,988 件）となり、イベント・サークルを自薦したにも拘わらず過去最高のアクセス数となりました。

これは、ホームページをご覧いただく会員が一定数定着した事と、メールマガジンでの告知や追加イベントの掲載が奏功し、アクセス数増加に繋がったものと推察します。

次代の要請に応えられるようコミュニケーションツールとして、今後も有効に活用していく所存です。

(3) オンラインイベントの開始

一昨年度の冬号よりオンラインイベントを開始しました。イベント件数は188件でしたが、参加者が少なく中止になるものや、催行しても定員を大きく割り込む結果となるイベントもありました。一方、他事務局エリアからの参加者が増えつつあり、参加者増効果も伺えます。

今後も参加できる会員の裾野を増やし、新型コロナ禍終焉後も時代の要請に応えられるよう引続き注力して参ります。

(4) メールマガジンの配信開始

本部・関東瓦版、関西瓦版、中部瓦版を月2回のペースで配信しています。

(5) ホームページでの追加イベント掲載

JASS ネット誌に掲載されているイベント以外にタイムリーなイベント開催が可能になるようホームページで追加イベントを掲載しました。

(6) イベント・サークル企画書の変更と JASS ネット制作作業の内製化

イベント、サークル内容の一元管理を目的に、企画書フォーマットの抜本的な変更と入力方式の変更を行いました。変更に伴い JASS ネット制作作業の一部を内製化しました。これにより既に要請されていた印刷費等の大幅値上げを一部回避できました。

3. 理事会、総会の開催状況

令和4年5月31日に令和4年度第1回通常理事会を、令和4年6月16日に通常総会を開催し、令和3年度事業報告、令和3年度収支決算報告、令和4年度事業計画、令和4年度予算を審議し、いずれも承認されました。

第1回通常理事会では、代表理事及び業務執行理事として理事長および専務理事から令和3年12月から令和4年5月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。

令和4年12月21日には令和4年度第2回通常理事会を開催し、代表理事及び業務執行理事として理事長および専務理事から令和4年6月から12月までの職務執行状況の報告があり特に問題なく了承されました。

以上